

広報 こえのするまち

おいしいだ

3

March

2026

No.837

大石田町

袋の重さが勇気の証

(大石田保育園初めての買い物体験・2月26日(木)・カクイチ商店)



令和8年度 施政 要 旨

はじめに

令和7年国勢調査の速報では、令和2年調査と比べ人口が約1千人減少し、出生見込みも12人と厳しい状況にあります。人口減少と少子化を最大の喫緊の課題と捉え、移住定住、子育て支援、少子化対策に全力で取り組んでまいります。

本年1月下旬の大雪では、13年ぶりに災害救助法が適用され、落雪事故や建物倒壊など多くの被害が発生しました。毎年の降雪を災害と捉え、除雪対策の強化が必要です。

また、最上川を抱える当町では水害への備えも重要であり、国・県・市町村が連携する「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」により堤防整備が進められています。

令和8年度の県予算は7千億円台となり、生活経済対策や安全・安心な地域づくりを重点に編成されています。今後も県と連携し、安心して暮らせる環境づくりと地域経済の活性化を推進してまいります。

二収納と併せ納税環境の向上に努め、さらにはスマートフォンを利用した申告の推進等、行政のデジタル化に取り組んでまいります。

地域活性化事業

○移住定住促進では、近隣自治体の動向を踏まえ、補助上限額を引き上げ、移住・定住を検討される方々にとって、より魅力ある支援制度となるよう整備してまいります。

○除雪支援事業を継続し、NPO法人との協働事業として、きめ細かな雪対策を進めてまいります。

○空き家の活用や大石田焼の普及を進めるため新たな地域おこし協力隊員の採用を進めてまいります。

デジタル化推進事業

○令和8年度から氏名の振り仮名記載が始まり、住民税のスマホ申告や各税の電子通知に向けた改修など、行政のデジタル化が一層加速する中で新たに「DX推進グループ」を新設し、DX推進体制の強化を図ります。

保健・福祉関係事業

○県内初の取り組みとして、妊婦に必要な栄養素が含まれたジェラートを無料で提供します。さらに、1か月児健康診査費用の全額助成や産後2週間、産後1か月の産婦に対する健康診査費用の助成などを行います。

各分野の施策概要

納税対策事業

○地方税共通納税システム、その他スマホ収納等によるキャッシュレス決済の拡充を図り、口座振替、コンビニ

建設関係事業

○町民に最も身近な交通インフラである町道について、交付金を活用し、歩道や街路樹を含めた計画的な整備と維持管理を進めてまいります。

○道路除雪は、自助、共助、公助の方針に基づき、町民、地域、町の三者が、歩調を合わせ課題解決に取り組んでまいります。

○鷹巣地内の流雪溝整備を、引き続き実施してまいります。老朽化した揚水ポンプについて、計画的に更新を進めてまいります。

最上川緊急治水対策事業

○町では、移転を余儀なくされた方々を支援するため、代替地登録制度や宅地整備に取り組んでまいりましたが、令和8年度は、大石田地区宅地整備や横山地区宅地整備箇所への流雪溝導水管工事を実施いたします。また、事業に関わる周辺地域の活性化を図るため、「かわまちづくり事業」の具体的な計画策定に向けた取り組みを進めてまいります。

住宅インフラ事業

○「公営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的な改修を図るため、庚申町アパートの改修工事などを実施し、引き続き、住環境の確保に努めてまいります。住宅リフォーム支援についても、寒さ、断熱化対策について、支援を拡充し取り組んでまいります。

安全安心のまちづくり事業

○資機材の運用訓練を実施し、災害時のタイムラインを見直しながら、防災・減災を推進してまいります。

○機能別消防団員の確保や準中型免許取得支援を行い、若年層の加入促進と組織の強化を図ります。

○関係機関と連携し、交通安全普及啓発活動を強化します。また、高齢者の免許証自主返納者に対するタクシー券交付事業も引き続き実施します。

○「レインボー作戦」を通じて、防犯意識の向上を図り、「元氣なあいさつであふれるまちづくり」を目指します。

教育文化振興事業

○児童生徒の学力向上を支援するため、公営塾を開設し、希望者に対し、無償で開催します。

○統合小学校の整備では、令和9年4月に向けて開校準備を進めてまいります。

○部活動の地域移行では、令和8年度から休日の部活動を行わず地域展開するにあたり、スキルアップ事業として支援を行ってまいります。

○給食費の完全無償化についても同様に実施してまいります。

○最上川ふれあいマラソンを町主催とし、より多くの参加者に喜ばれる大会運営に努めてまいります。

○交流センター「虹のプラザ」を拠点に、質の高い芸術に触れる機会を充実させ、「町民一人一芸術文化活動」を促進し、地域の活性化を図ってまいります。

商工業振興事業

○町内商工業事業者の経営基盤強化を図るため、町商工会と連携を図りながら商工業の活性化を推進してまいります。

○地域経済の活性化や雇用機会の創出を図るため、各種補助金等の拡充を行い、中小企業者等を支援してまいります。

○18年目となるプレミアム商品券発行事業を支援してまいります。また、「おおいしだエール券発行事業」については、物価高騰対策として令和8年2月から使用できるよう令和7年度補正予算で対応しております。

観光物産振興事業

○「そばの里」として「新そばまつり」をはじめとするイベントを開催し、「大石田そば街道振興会」や関係機関と連携して観光振興と地域活性化を推進してまいります。

○地域未来交付金を活用し、コワーキング施設として整備中のクロスカルチャープラザ「桂桜会館」へのWiFi機器設置などを行い、施設の利便性向上を図ってまいります。

生活環境保全事業

○町衛生組織連合会と連携し、資源回収に取り組み、SDGsの実現に向けた取り組みも継続してまいります。また、「クリーンアップおおいしだ」の活動も引き続き推進してまいります。

○猫の避妊手術や去勢手術費用への補助を継続してまいります。

○子育て支援では、令和8年度から全国で始まる「子ども誰でも通園制度」に合わせ、第3期大石田町子ども子育て支援事業計画に基づき、子育て・保育サービスを効果的に提供してまいります。

○保健事業では、歯の生えかわり期の問題を早期発見するため、小学3・4年生を対象にパノラマX線検査の費用助成を開始し、子どもの口腔の健康と保護者負担の軽減を図ります。また、高齢者の基礎体力向上と骨格系疾患の予防のための健康講座を開催することを目的に、運動機能関係の専門職を派遣する事業を行います。

○介護保険事業では、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」のさらなる深化、推進を求めた総合的な高齢者施策を進めてまいります。

農林業振興事業

○少子高齢化や担い手不足、物価高騰で農業経営が厳しさを増す中、新規就農者支援の拡充や親元就農支援に取り組みます。

○全国的にクマ被害が最多となり、町内でも50件超の目撃情報がありました。町猟友会への支援の拡充や、不用果樹伐採及び緩衝地帯整備に対する支援など鳥獣被害防止に努めます。

次世代に虹をかける 「子どもたちの笑顔あふれる未来づくり」へ

一般会計当初予算 (前年度比 +10億5,500万円 +14.9%)

81億5,500万円

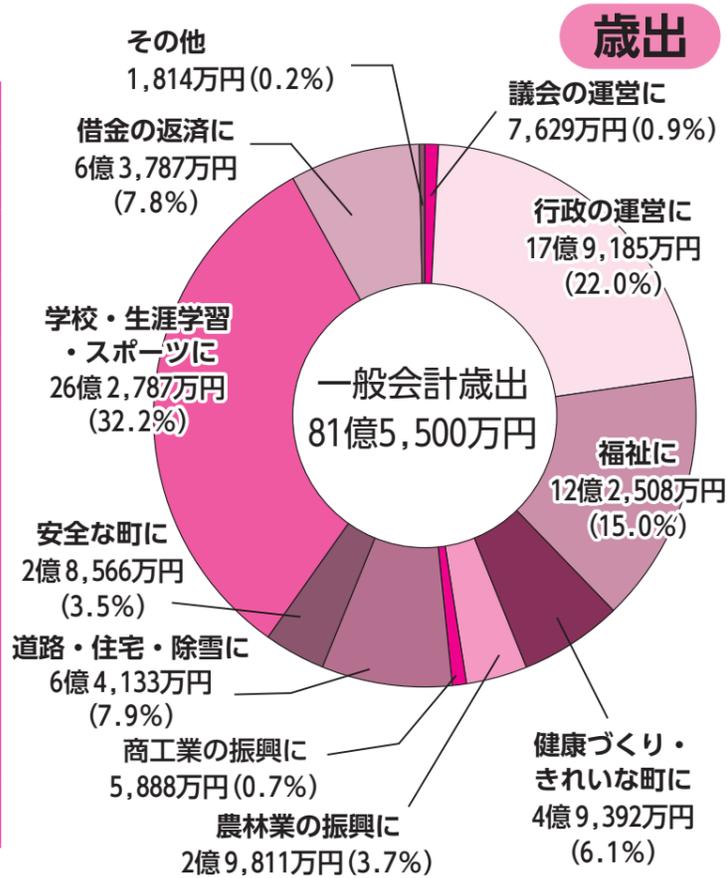
特別会計当初予算 (前年度比 +2,616万円 +1.5%)

17億9,736万円

公営企業会計当初予算 (前年度比 +8,157万円 +59.7%※支出ベース)

2億1,833万円

区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
議会の運営に	658万円(9.4%) 6,971万円
行政の運営に	4億1,513万円(30.2%) 13億7,672万円
福祉に	30万円(0.0%) 12億2,478万円
健康づくり・ きれいな町に	7,233万円(17.2%) 4億2,159万円
農林業の 振興に	3,678万円(14.1%) 2億6,133万円
商工業の 振興に	1,366万円(30.2%) 4,522万円
道路・住宅・ 除雪に	▲4億3,839万円(▲40.6%) 10億7,972万円
安全な町に	1,498万円(5.5%) 2億7,068万円
学校・生涯学習・ スポーツに	9億3,606万円(55.3%) 16億9,181万円
借金の返済に	▲125万円(▲0.2%) 6億3,912万円
その他	▲118万円(▲6.1%) 1,932万円

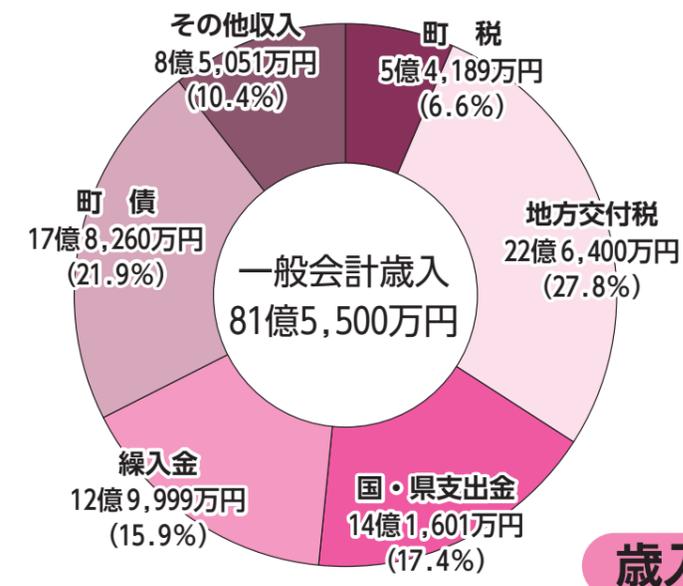


区分	予算額	増減率
特別会計		
国民健康保険	7億4,900万円	0.5%
介護保険	8億9,636万円	▲0.4%
後期高齢者医療	1億5,200万円	20.4%
計	17億9,736万円	1.5%

人件費：職員の給与など	11億9,533万円(前年比9.8%)	▲
扶助費：障がい者支援や医療費助成など	5億4,640万円(前年比▲3.4%)	▲
公債費：過去の借入金の返済にかかる費用	6億3,788万円(前年比▲0.2%)	▲
行政運営費：事業実施の事務経費や施設管理費用など	27億5,914万円(前年比21.8%)	▲
普通建設事業費：施設や道路などの整備にかかる費用	24億8,707万円(前年比20.6%)	▲
繰入金：一般会計から特別会計等に支出する費用	5億2,919万円(前年比10.7%)	▲

会計	収入	支出	増減率
簡易水道事業	収益的収入と支出(営業するための収益と費用)	収入 20,426千円 支出 20,426千円	84.3%
	資本的収入と支出(施設整備などの資本と費用)	収入 9,924千円 支出 11,043千円	427.6% 182.0%
農業集落排水事業	収益的収入と支出(営業するための収益と費用)	収入 94,574千円 支出 94,574千円	3.3%
	資本的収入と支出(施設整備などの資本と費用)	収入 72,535千円 支出 92,282千円	149.3% 205.3%

一般会計当初予算の内訳



区分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
町税	1,840万円(3.5%) 5億2,349万円
地方交付税	5,900万円(2.7%) 22億500万円
国・県支出金	2億7,608万円(24.2%) 11億3,993万円
繰入金	3億3,286万円(34.4%) 9億6,713万円
町債	1億5,650万円(9.6%) 16億2,610万円
その他収入	2億1,216万円(33.2%) 6億3,835万円

用語解説

地方交付税：全国どの自治体でも一定の行政サービスが提供できるように、国が財政状況に応じて配分するお金。

国・県支出金：国や県が使い道を決めて支出する補助金、交付金や負担金などのこと。

繰入金：積み立てていた基金などから予算に繰り入れるお金。

町債：町が銀行などから借りるお金。

その他収入：町の土地などを利用したときの使用料のほか、諸収入や寄附金など。

公債費：過去に町が借りたお金(町債)を返すための費用。一般会計歳出の円グラフ「借金の返済に」の項目。

農林業・商工業の振興に(農林業水産事業費+商工費)

拡充	農業経営基盤強化促進対策事業	農業担い手経営確立支援、元気な新規就農者支援事業などに係る費用	17,185
	新事業チャレンジ支援助成事業 <small>※地域未来交付金事業にて実施</small>	新製品開発や新分野への進出に取り組む中小事業者等の新事業へのチャレンジに対する助成金	(5,400)

道路・住宅・除雪に(土木費)

新規	流雪溝揚水ポンプ更新事業	流雪溝のポンプ更新に係る費用	38,580
	最上川流域治水対策関連事業	新大橋歩行者空間設置検討に係る費用	1,991
新規	治水事業に係る移転支援事業	治水事業に係る宅地分譲地等の整備に係る費用	31,634
	大石田・横山地区かわまちづくり事業	新大石田大橋周辺整備基本計画検討等に係る費用	9,458
新規	町営庚申町アパート改修事業	町営アパートの改修工事に係る費用	25,501

安全な町に(消防費)

新規	災害対策事業	災害対応非常用電源供給車両購入など	27,494
----	--------	-------------------	--------

学校・生涯学習・スポーツに(教育費)

新規	子どもスキルアップ支援事業	学校外活動における習い事などを支援	5,712
新規	中学校施設整備事業費	特別教室空調整備工事に係る費用	14,702
	地域未来塾(公営塾)事業業務委託	町内中学生に塾形式での数学授業を実施する	1,517
	部活動地域移行コーディネーター配置事業	部活動地域移行コーディネーターを配置するための費用	3,267



拡充や新規となった事業を中心に紹介します。



令和8年度一般会計

主要な事業を紹介します

(単位：千円)

議会の運営に(議会費)

議会活性化事業	模擬議会、少年議会、モニター制度を行うための費用	144
---------	--------------------------	-----

行政の運営・まちづくりに(総務費)

拡充	移住・定住促進事業	補助上限を新築200万円、中古住宅150万円に拡充	35,045
新規	おためし地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活動を事前体験する機会を設け、新規隊員の募集を図る	1,000
	デジタル変革推進費	庁舎ネットワークの強化のほかAIツール、音声の文字おこしなどを導入するための費用	24,009
	地域未来交付金事業	国の地域未来交付金事業を活用し、虹ヶ丘公園の整備やプロモーションビデオ制作、クロスカルチャープラザの整備などに係る費用	45,200
新規	地域未来交付金事業(デジタル実装)	国の地域未来交付金事業を活用し、小中学校図書室連携システム導入に係る費用	3,985

福祉に(民生費)

	高齢者世帯等エアコン購入費助成事業	高齢者・生活保護世帯に設置費用の一部を助成(上限5万円の助成金)	500
拡充	社会福祉協議会育成事業	体制強化(一般職6名体制)に係る費用	28,306
拡充	高齢者就業機会確保事業費補助金	シルバー人材センターへの補助金の増額	3,000

健康づくり・きれいな町に(衛生費)

拡充	妊産婦健康診査事業	妊産婦健診通院交通費を助成、里帰り分娩補助金に係る費用	3,148
拡充	出産・子育て応援事業	マタニティジェラート贈呈事業などの拡充	504

大中 で 立志式 を 開催 2年生が将来の夢や目標を語る

数 え年で15歳を祝う元服にちなんだ立志式が、2月24日(火)に大石田中体育館で行われ、2年生33人が参加しました。同校では、生徒の自立心を育むため毎年立志式を開催しています。立志式は2部構成で行われ、最初に、生徒による決意表明が行われました。安達卓子校長が「それぞれが言葉に込めた想いを大事にしてほしい」とあいさつすると、生徒はそれぞれ「何事にも挑戦していきたい」、「優しい人になりたい」など、今後の生き方や将来の夢を発表しました。

第2部では、町内出身のパラ水泳選手の齋藤元希さん(株式会社スタイル・エッジ)を招いた講話が行われました。

講話は、「自分の人生を作る」というテーマで行われ、自身の経験を通して感じた「失敗を恐れずに挑戦すること」や「ふるさとを大切にすること」の大切さなどについて、優しく生徒たちに語りかけていました。



1 団体 9 人の 選手 に スポーツ 激励金 を 交付

ス ポーツ大会出場激励金の交付式が、2月27日(金)に役場「応接室」で行われました。

今回は、東北大会や全国大会に出場された1団体9人の選手に激励金が交付されました。

大変おめでとうございます。

氏名(学校名)	種目	大会名
大石田野球クラブ	軟式野球	キャッチボールクラシック2025全国大会
星川 琳太郎	男子クラシカル2.5km 男子フリー2.5km	2026全日本小学生選抜スキー大会(クロスカントリー種目)
佐竹 澄海	男子クラシカル2.5km 男子フリー2.5km	2026全日本小学生選抜スキー大会(クロスカントリー種目)
小關 大雅	男子クラシカル2.5km 男子フリー2.5km	2026全日本小学生選抜スキー大会(クロスカントリー種目)
佐藤 悠	男子クラシカル2.5km 男子フリー2.5km	2026全日本小学生選抜スキー大会(クロスカントリー種目)
青木 舞	女子クラシカル2.5km 女子フリー2.5km	2026全日本小学生選抜スキー大会(クロスカントリー種目)
今田 結愛	女子クラシカル2.5km 女子フリー2.5km	2026全日本小学生選抜スキー大会(クロスカントリー種目)
須藤 亮	硬式野球	第49回全日本クラブ野球選手権第二次予選東北大会
笹 大夏	硬式野球	第31回 JABA 東北地区連盟会長旗争奪野球大会
齋藤 蓮	硬式野球	第31回 JABA 東北地区連盟会長旗争奪野球大会



自主企画事業

みんなでモッシュェおーいしだ 盛り上げコンサート2026

2月15日(日)に生涯学習自主企画事業「みんなでモッシュェ盛り上げコンサート2026」が、虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。今年、白崎映美さん、小柴大造さん、若草 恵さんのほか、ゲストとして、朝倉さやさん、工藤綾乃さん、叶高&叶ありさ(サーカス)さんがコンサートを大いに盛り上げてくださいました。



おはなしと音楽で育む心 親と子のつどい

親 子が一緒に楽しむ親と子のつどいが3月3日(火)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。

これは、小学校入学前に子どもや親同士が交流を深め、学校生活を充実させてもらおうと毎年行われているもので、27組の親子54人が集まり、大型紙芝居や音楽を使ったゲームを楽しんだり、人形劇を鑑賞したりしました。

このうち、音楽や歌のリズムにあわせて親子で手を合わせるゲームでは、子どもたちの賑やかな笑い声が会場に響いていました。参加した保護者は「親子で一緒に楽しめることができて、子どもたちもとても楽しそうにしていました。」などと話していました。



あたたかい福祉のまちづくり いきいき大石田福祉のつどい

い きいき大石田福祉のつどいが2月22日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。

開会行事では大石田南小学校の児童による大黒舞と大石田町民謡研究会の芳賀清さんによる最上川舟唄が披露されました。

その後、老人クラブ活動に尽力された方々への町社会福祉協議会会長表彰が行われ老人クラブや個人などが表彰を受けました。

また、虹のプラザの施設内では、手芸作品や絵画、竹細工などの作品のバザーなどのほか、保健師による健康測定コーナーや、食生活改善推進員連絡協議会が北村山高校の生徒と考案したフレイルを予防するメニューの提供も行われ、会場は多くの人で賑わっていました。



東北学院大学による 除雪ボランティア

東 北学院大学などの学生34名による除雪ボランティアが2月12日(木)に町内一円で行われました。前半は、雪かきの前の体操を行い、その後、国土交通省克雪体制づくりアドバイザーの二藤部久三さんによる雪かき講習が行われ、後半では、地区へ出向き、ひとり暮らし世帯などの除雪にあたり、雪の重さに苦戦しながらも汗を流していました。

参加した柿谷敦月さんは、「雪が多いところの出身で、雪の大変さを知っていたので、除雪ボランティアに参加して良かった。」と話してくれました。



スマホを使えるように 無料のスマホ教室を開催

ス マートフォンを持っているけれど、使い方が分からない、もっと便利に使いたいなどの悩みを解決するため、町主催で無料のスマホ教室が虹のプラザ「小会議室」で開催されました。

これは、ドコモショップ村山店の協力で実施されたもので、今年は1～2月の毎週木曜日に開催されました。

受講者は、自身のスマホを使い、カメラの使い方等の入門編、オンライン手続きの基本編、SNS利用の活用編など、徐々にスマホの使い方を学んでいました。参加者は、「すべてに参加したが、自分で情報を取れるようになった。特にAIの便利さに驚いた。」と話していました。



そば街道振興会が水明苑を訪問 利用者とそば打ちで交流

そ ば店12店舗で組織する大石田そば街道振興会(芳賀清会長)の会員が2月26日(木)に水明苑を訪れ、利用者と職員に打ちたて茹でたてのそばを振る舞いました。

これは、同会がおいしいそばを味わってもらおうと、毎年実施しているものです。この日は、そば打ち体験も行われ、利用者は、「こね、のし、きり」の工程に挑戦しました。

最後に、茹でたてのそばが振る舞われ、利用者はおいしい大石田そばに舌鼓を打っていました。



初めてのお買い物 園児がカワイチ商店で体験

カ ワイチ商店の協力により、大石田保育園の園児が、2月26日(木)に初めての買い物体験を行いました。

この日は、翌日に作るカレーの具材を自ら買うために、それぞれ、目標の具材を探してお店の中を散策しました。

園児たちは、お目当ての食材を見つけると、「あった！」と嬉しそうにカゴの中に入れて、お会計をしていました。



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://nji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《4月の休館日》2日(木)、9日(木)、16日(木)、23日(木)、30日(木)

開校予定
令和9年度
統合小学校



大石田町内小学校・町立図書館共催 図書リサイクル市

持ち帰り用の袋をお持ちください

令和8年3月23日(月)～5月12日(火)

会場 大石田町立図書館

令和9年度に統合が予定されている大石田町内小学校のリサイクル図書と、町立図書館の除籍図書をお譲りします。ぜひご家族やお友達と、地域の方みなさままでお越しください。※なくなり次第終了

今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!



『自分の感受性くらい』

(茨木のり子//著 岩波書店)

すがすがしく生きたいと思う心そのままを、確かな視線と優しい言葉でとらえた、あざやかな茨木のり子の詩の世界。1969年から1976年にかけての作品20篇を取めた詩集。伊藤比呂美による解説を加えて文庫化。



『不機嫌を飼いならそう 嫌な気持ちにメンタルをやられない』

(藤野 智哉//著 主婦の友社)

怒り、悲しみ、不機嫌といった負の感情と、ゆるっとした気持ちでつき合える方法を紹介します。自分主導で生きるヒントが満載。チェックリスト、書き込み欄、ぬりえあり。

『まるみかん大一番』

(まはら三桃//著 小学館)

丸美市立みんなの図書館、通称「まるみかん」。創設50周年を迎えたばかりの「まるみかん」だったが、ある日突然閉館することが決定した。小6の研心ら、まるみかん利用者たちは、閉館を止めるために力を合わせて声をあげ…。



『ななちゃんは、みんなのねこ』

(今西 乃子//作、ひろみちい//絵 岩崎書店)

公園に住み、近所の人々が世話をする「みんなのねこ」ななちゃん。年老いたななちゃんは、ある日、公園を出ました。そして、ねこ好きの「おじさん」と出会い…。実話を元にした、最後まで輝く命を見つけたストーリー。



※紹介文は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。



小学校統合に向けて

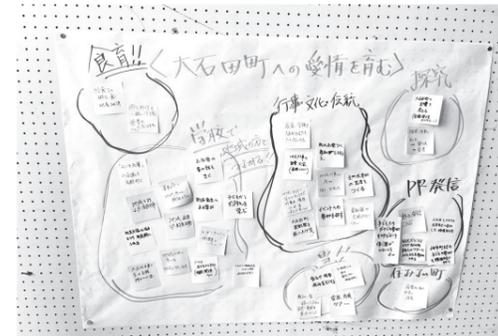


大石田町教育委員会では、小・中学校での「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会)と、地域と学校の一体的な活動の推進を図るため、「地域学校協働本部」の連携のもと、「大石田学園構想」をより一層活性化させております。

各学校運営協議会で組織される大石田学園運営委員会では、「故郷大石田町への愛情を育むために私たちができること」をテーマに、2月25日(水)にワークショップ形式での熟議を行いました。

様々な視点からいただいた意見については、今後の教育方針策定の際、参考にさせていただきながら、引き続き、小学校統合事業を推進してまいります。なお、熟議の内容については、虹のプラザに展示しています。

■ 教育文化課 学校教育グループ
☎35-2111(内線252)



町長コラム

「次世代へ虹をかける」

「AIと国語力」

vol.27



皆さん、こんにちは！最大積雪が190センチを記録した今冬ですが、雪もとけ、周辺の木々の芽も膨らみ始め、本格的な春の到来を待ち望んでいるところです。

さて、最近「AI」という言葉を聞くことが増えたように思います。「AIって何？」と感じている方も多いのではないのでしょうか。

AIとは、「人工知能」のことで、人の考え方や判断に近い働きを、コンピュータで行う技術のことです。質問に答えたり、情報を整理したりと、私たちの暮らしや仕事を支える存在として、これからますます身近になっていくと言われています。

以前、現外務大臣の茂木さんが要職に就かれていた時期、来県され小中高生を対象にした特別講義が開かれました。私も子どもと一緒にその講義を聞いた際に、「これから皆さんはAIと共に生きていく。AIは答えを導いてくれるが、正しく必要な答えを得るには、正しい論理と柔軟な発想を持ち、「質問力」と「オ

ー」

「AI」を身につけなければならぬ」という話を聞きました。また、別の機会に3次元仮想空間「メタバース」研究の第一線で活躍されている慶應義塾大学の藤田教授にお会いした際にも、「これからは、プログラミング力そのものよりも、AIへ伝える力、つまり「国語力」が重要になってくる」というお話を伺いました。

お二人のお話は、表現は違っても、伝えている本質は同じだと思いました。

AIが急速に進化し、私たちの生活においてますます身近になってくるからこそ、何を知っているかだけでなく、何を考え、どう問い、どう伝えるかという力「国語力」がこれまで以上に重要になってくる時代になると。

「読むこと」「話すこと」「伝えること」「書くこと」…日本人として「国語力」を子どもも大人も大切にしていきたいですね。

大石田町長 庄司 中

野菜作りのコツ教わる



「春から活かそう！野菜作りのコツとワザ講座」が2月28日(土)に虹のプラザ「中会議室」で行われました。

講師には、町立図書館にも置かれている月刊誌「現代農業」を発行している一般社団法人農山漁村文化協会東北支部櫻井欽太郎さんをお迎えし、参加者はマルチのコツやブロッコリーの栽培方法など野菜作りのコツを学んでいました。

統計調査に尽力された2名が 農林水産大臣表彰を受賞されました



▲写真は、星川昌美さん

この度、桐原完司さん(今宿)、星川昌美さん(駒籠)が農林水産大臣表彰を受賞されました。これは、長年統計調査事務にご尽力いただき、農林業センサスにおいて、豊富な知識と経験による精度の高い調査の実施が評価され受賞されたものです。大変おめでとうございます。



大石田町地域おこし協力隊コラム

皆さまこんにちは！久保田舞です。

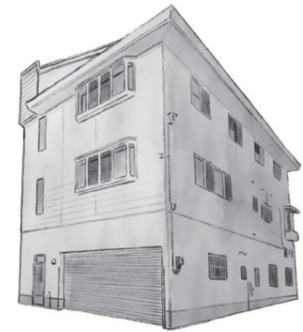
時が過ぎるのは早いもので2026年3月をもって大石田町地域おこし協力隊任期満了を迎えます。前回の寄稿のタイミングをもって最後のご挨拶を想定していたのですが、もう一度機会をいただきましたので任期満了月である今月、改めてこの場をお借りして感謝をお伝えしたいと思います。

私が初めて大石田町に足を踏み入れたのは、2022年の秋でした。地方公演などで全国各地へ訪問していましたが東北では唯一山形県には行ったことがなく、どきどきして駅を降り立った瞬間は今でも鮮明に覚えています。当時地域おこし協力隊員であった大橋武司さん(現・虹のプラザ文化芸術プロジェクト統括マネージャー)に町案内や地域の皆さんを紹介してもらった際に「とっても風通しの良いあたたかい町」と感じました。訪問から数日、私の心は大石田町に寄っていてこれからの生活や活動の希望が不安を消し、移住を決めました。

3年間、季節ごとの美しい景色とともに伸び伸びと呼吸をし、関東の生活では成しえない体験をいくつも重ねさせていただきました。移住前に取り組んでいた表現活動についても改めて自身に問い見つめる。そんな時間にさせてくれたのもこの大石田町です。

任期後については前回の寄稿で少しふれておりましたが「さようなら」ではなく、この3年間の体験を活かしながら更なる目標を持ち活動を続けたいその想いで現在町内で拠点創りの真っ最中です。過程や情報は右記の二次元コード先より発信していきますのでぜひぜひお見守りいただけますと幸いです。

ここからまた新しい形で大石田町と関わっていきます。これからの歩みをどうぞ温かく見守っていただけましたら嬉しいです、そして本当にありがとうございました！



▲こちらから



▲個人Instagram

死亡事故ゼロ2,092日目

(3月10日現在)

大石田町の交通事故発生状況 (令和8年1月1日～3月10日)



- 発生件数 2件 (+1件)
 - 負傷者数 2人 (+1人)
 - 死亡者数 0人 (±0人)
- ※()は前年比

今月のポイント

「春の交通安全県民運動」が始まります。

期間：4月6日～15日の10日間

4月1日より16歳以上の自転車の運転者による一定の交通違反に対して、交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)が適用されます。

毎月1日は「大石田町民交通安全行動の日」

4月の主な行事予定

日	行事予定
2(木)	大石田保育園入園式/午前10時/大石田保育園
3(金)	ふたば保育園入園式/午前10時/ふたば保育園
7(火)	町内小学校入学式/午前10時/各小学校 大石田中学校入学式/午後1時30分/大石田中学校
8(水)	心配ごと相談/午後1時30分～午後4時/社会福祉協議会 行政相談/午後1時30分～午後3時/虹のプラザ
9(木)	年金相談/午後1時30分～午後3時/役場「101会議室」 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。☎0233-22-2050
14(火)	狂犬病予防接種(田沢・横山・豊田・海谷・役場)

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

日曜・休日急患の当番医

4月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
5日(日)	中央診療所	(23)2010
12日(日)	伊藤クリニック	(23)3350
19日(日)	おくやま内科医院	(24)0980
26日(日)	尾花沢病院	(23)3637
29日(水)	さかえクリニック	(53)8181

家族の健康管理に気をつけて

短歌

月曜は休館日ばかり辿り着く日比谷公園内のタリーズ
銅鐸のイモリ音なき声に鳴く雪霏霏と降る祈年の夜を
雪解けの雨だれの音ききながら春が近いと心が踊る
除雪車の遠きエンジン音夜半過ぎて眠れる町の奥より響く
唐突に聞の静寂かき乱しの雪囲の雪の崩るる音す
音楽を好みしなれど楽器には触るる余裕のなく過ぎし来ぬ

海 伊 鈴 鈴 小 小
藤 藤 木 木 関 玉
忠 哲 隆 智 祐 春
男 夫 行 恵 子 歌

あなたのニギハキ

俳句

桃の日や孫と桃酒老夫婦
山覚める遠のくほどに青深く
春雨に手紙の宛名にじみをり
青天や残雪を背に立ち話
笑窪みせくるりと廻る吊し雛
山肌の色濃くなりて春を待つ
殿や務め上げたる春の句誌
春めいて冗談笑ふるぬくき午後

星 川 紀 一 郎
木 村 満 喜 子
伊 藤 千 代
柏 倉 ヤ ス 子
糸 尾 櫻
青 木 ミ サ 女

別冊

おいしいだものがたり

～資料館資料編～ ■「大石田町と雛人形と」より

現在資料館では企画展「大石田町と雛人形と」を開催中です。大石田に残る享保雛や古今雛は、制作年代や地域はもちろん姿かたちや表情もバリエーションに富んでいますが、その中でも今回はひと際大きな享保雛をご紹介します。

展示室正面に鎮座する一対の享保雛は、宝冠や烏帽子も含めると60cmにも達する大型の雛人形です。装束に施された色とりどりの瑞雲や龍、宝珠などの吉祥文様は人形のサイズに比例して見ごたえがあり、大きいだけにその精緻さが際立ちます。顔の作り込みも端正でゆるみが無く、堂々とした表情を湛えています。女雛の袖から裾にかけての稜線が特に美しく、打掛の下に重ねた着物にも錦が用いられて、正に豪華絢爛といった趣です。

座姿の雛が登場した江戸初期から中期にかけての雛人形は小ぶりで、衣装も素朴なものでした。しかし元禄時代頃になると、経済力をつけた町人たちの間でより大きく豪華なものが流行するようになっていきます。幕府は江戸時代を通じて度々儉約令を出していますが、元禄17年(1704)にはじめて雛人形がその対象になり、さらに享保6年(1721)には八寸(24cm)を超える大きさや、高価な生地を使った人形の販売を禁止しました。常識的に考えれば、このお触れ以降は八寸以上の雛人形は作られなかったこととなります。しかし実際は一尺を超える大きさで、金欄緞子・紅花染めの生地を用いるなど贅を凝らした人形が数多く残っていることから、当時はより多くの「禁制品」が出回っていたと考えられます。

実は享保6年の奢侈禁止令以降、享保20年(1735)、宝暦9年(1759)、寛政元年(1789)にも同じ内容の禁令が発せられています。お触れが出されれば一時的に守られるものの、時が経てば大きく華やかな人形が復権し、再び(再三)禁じる、の繰り返しだったのでしょう。特に寛政の改革で行われた取り締まりは苛烈で、多くの雛問屋が摘発された記録が残っています。しかしそもそも対象となる人形を製造・販売しなければこのような記録は残らないはずで、どれほど禁令が厳しいものであっても豪華な雛人形が売買され続けたことを裏付けています。またそれは豪華で煌びやかな雛人形への羨望や憧れの強さを表しているともいえるでしょう。

今回ご紹介している享保雛も、雛人形に対する願望を具現化したような逸品であり、規制をかいくぐって大石田までもたらされた貴重な雛人形です。中でも二尺にも及ぶ大きさのものは珍しく、この機会に是非ご覧いただきたいと思います。



新町発足70周年記念企画展「大石田町と雛人形と」は4月3日(金)まで
資料館内聴禽書屋にて3月29日(日)は和琴演奏会、
4月3日(金)は抹茶席が開催されます



大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石田町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容
を確認したい等のご意見をいただき、町
では防災放送確認ダイヤルサービスを開
始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロ
ディ等)放送を含め、直近の放送から8時
間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

総務課総務グループ TEL35-2111 (内線218)

町の人口 令和8年3月1日現在

世帯数	2,180戸	(-5)
総人口	5,726人	(-10)
男	2,862人	(-7)
女	2,864人	(-3)

(2月中の異動)

出生	0人	転入	3人
死亡	9人	転出	4人

※この人数は外国人も含めたものです。